

# 災害時の応急給水

## 運搬給水と仮設給水栓の二本立て 大規模災害時には他都市からの応援も

高知市水道局では施設や管路の耐震化を進めていますが、次の南海地震では管路の破損により市内各地での断水が予想されます。

このため、市街地中心部に耐震性非常用貯水槽を設置し、飲料水を確保できるようにしています。

### 応急復旧までには数か月

災害時の応急復旧については、水道工事業者の協力を得て迅速に復旧体制を立ち上げ実施する計画です。

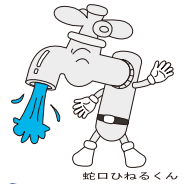
しかし、南海地震では、広範囲での断水が予想されるため、遅いところでは復旧までに数か月を要すると想定しています。

### 応急給水には他都市も協力

飲料水の確保は生命維持にかかせないため、応急復旧と並行して応急給水も必要です。

大規模な断水では、高知市水道局だけで応急給水をおこなうことは不可能なため、事前に結んだ協定に基づき他都市の水道事業者からの応援も受け、車両による運搬給水を実施します。

また、市街地周辺部に位置する配水池に緊急遮断弁を設置し、必要な水を確保した上で他都市からの応援も得て、病院や避難所などへの運搬給水を実施していきます。



### 運搬給水の本格化は3日目以降に

運搬給水は、浄水場や緊急遮断弁で確保した配水池などの水をタンク車に入れて運ぶものですが、地震発生直後は、道路事情も悪いため、災害支援病院や避難所などへの運搬給水が本格化するのには地震発生の3日目以降になると想定しています。

### 市内各地に給水可能な場所を開設

当初、給水車などによる運搬給水は、優先順位の高い施設(病院や避難所など)が主体となるため、市内各地に給水可能な場所を開設します。

給水可能な場所には、断水を免れた水道管に仮設の給水栓を設置する応急給水栓と、公園や学校に設置した耐震性非常用貯水槽からポンプで給水する仮設の給水栓の2種類があります。

高知市上水道の応急給水対策



#### 耐震性非常用貯水槽

水道管の一部が太くなったような構造で常に水道水が流れており、地震などの災害時にはバルブ操作等で水道管から切り離されることにより、いつでも飲用可能な水道水を1基で3日間・6,000人分を確保しています。

